



蛍光灯や乾電池など(水銀使用製品)の拠点回収が始まります

「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」により家庭用の蛍光灯や乾電池などの「水銀使用製品」は、平成31年4月から一般ごみとしてごみ集積所に出せなくなります。そのため市は、10月から試行的に拠点回収を始めますので、分別と回収にご協力をお願いします。



■回収場所と時間

市環境課、各地区生活応援センター(専用の回収ボックスを設置します)
8時30分~17時 ※土・日曜日、祝日を除く

■対象製品と分別方法

①家庭用の蛍光灯(直管型、環型、品番がEFで始まる電球型)

- 割れないように箱へ入れるか新聞紙などで包み、専用の回収ボックスに入れてください
- 割れてしまった蛍光灯は透明または半透明の袋に密閉して専用の回収ボックスに入れてください

②乾電池

- そのまま、専用の回収ボックスに入れてください

③水銀体温計

- 元のケースに入れるか袋に包んで、専用の回収ボックスに入れてください

④水銀温度計・血圧計

- 元のケースに入れるか袋に包んで、回収場所の職員に直接お渡ししてください

《次の製品は対象外です》

- 白熱球、ハロゲン電球、LED照明
→一般ごみへ
- アルコール式(赤い液)の温度計
→一般ごみへ
- ボタン電池、充電式電池
→市内回収協力店をご利用ください
- 会社、学校、店舗など事業所から出るもの
→産業廃棄物
- 電子式の体温計
→資源物、小型家電

よくある質問

【回収の際に注意することは?】 →製品が破損して漏れ出さないように注意してください。破損してしまった場合は換気をし、水銀が飛散しないよう粘着テープなどで掃除してください

【なぜ乾電池を集めるの?】 →海外製や平成2年以前に製造された国内製の乾電池に、水銀が使用されているものがあります。これらを見分けるのは難しいので、全て回収することになりました

【回収された水銀使用製品はどうなるの?】 →専門業者により、薬品や金属製品へリサイクルされます

問い合わせ 市環境課 リサイクル推進係 ☎27-8453

平成31年度コミュニティ助成事業を募集します

コミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源として(一財)自治総合センターが実施しています。地域が自主的に行うコミュニティ活動に必要な、備品や施設の整備などに対して助成されます。

■対象 自治会や町内会、自主防災組織などの団体が実施する事業(申請した年度の翌年度末までに、支払いを含めて完了する事業に限ります)

■申請方法 市・県をとおして(一財)自治総合センターへ申請します。申請を希望する場合は9月25日(火)までに市総合政策課企画調整係へご相談ください

事業名	助成事業	助成金
一般コミュニティ助成事業	コミュニティ活動に直接必要な設備などの整備	100~250万円
コミュニティセンター助成事業	集会施設の建設や大規模修繕、施設に必要な備品の整備	1,500万円まで(事業費の5分の3以内)
青少年健全育成助成事業	親子で参加するスポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動に関する事業	30~100万円
地域づくり助成事業	①共生の地域づくり助成事業 地域の実情に応じて全ての住民にやさしいまちづくりを進めるための設備(建築物、消耗品は除く)などの整備やソフト事業	1,000万円まで ソフト事業は500万円まで
	②活力ある地域づくり助成事業 地域の特色を生かした商店街の魅力や集客力の向上のための設備などの整備事業、地域資源の活用や広域的な連携を目的とする特色あるソフト事業	1,000万円まで ソフト事業は200万円まで

問い合わせ 市総合政策課 企画調整係 ☎27-8413